

男女共同参画に関する市民意識調査

【男女共同参画に関する市民意識調査へのご協力をお願い】

市民の皆様には、日ごろから市政の推進に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、男女がともにいきいきと、対等なパートナーとして、伸びやかに生きることのできるまちづくりを目指して、「第3次川口市男女共同参画計画」に基づいて、様々な取り組みを進めております。

このたび、市民の皆様の男女共同参画に関する意識の変化を把握し、今後、市が取り組むべき施策の参考資料とするために、調査を実施することといたしました。

今回の調査では、満18歳以上の市民の皆様の中から、無作為に4,000人の方を選ばせていただき、ご協力をお願いしております。調査結果は「〇〇の意見が〇%」などという形でとりまとめ、ご回答いただきました内容は本調査の目的以外に使用いたしません。また、記入者が特定されることはありません。

市民の皆様とともに、川口市を魅力的で元気なまちにするために、アンケートの趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和8年9月 川口市長 ○○ ○○

【回答方法】

インターネット（スマートフォン、パソコン等）または「紙」の いずれかを選択してください	
インターネットで回答	紙で回答

①下記のURLを入力するか、2次元コードを読み取ってアクセスしてください。

URL :

2次元
コード

②以下の認証IDを入力してください。

認証ID

- ①本調査票に直接記入してください
②本調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて封をし、郵便ポストへ投函をお願いします（回答は無記名で、切手は必要ありません）

【回答にあたってのお願い】

●調査対象者ご本人（封筒の宛名の方）がご回答ください。もしご都合でご記入ができない場合は、どなたでも結構ですので、代わってご記入ください。その場合は、調査対象者ご本人の立場でお答えください。

●設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印に従ってお進みください。

【回答期限】 令和8年9月30日（水）

【お問い合わせ先】

川口市 市民生活部 協働推進課
〒332-0015 川口市川口1-1-1 キュポ・ラ本館棟M4階
TEL：048-227-7605
問い合わせ時間：火曜日～土曜日 9：00～17：15（祝日はお休み）

1 男女の平等について

問1 あなたは、次の分野において、男女は平等になっていると思いますか。また、社会全体としてはどうですか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

	男性が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性が優遇されている	わからない
(ア) 家庭生活	1	2	3	4	5	6
(イ) 職場	1	2	3	4	5	6
(ウ) 学校教育	1	2	3	4	5	6
(エ) 法律や制度	1	2	3	4	5	6
(オ) 社会通念・慣習	1	2	3	4	5	6
(カ) 政治の場	1	2	3	4	5	6
(キ) 地域活動	1	2	3	4	5	6
(ク) 社会全体として	1	2	3	4	5	6

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのようにお考えになりますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 賛成	3. どちらかといえば反対
2. どちらかといえば賛成	4. 反対
	5. わからない

問3 結婚、家庭等について、あなたの考えはどれですか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
(ア) 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
(イ) 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4	5
(ウ) 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5

2 男女平等教育について

問4 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、学校教育、家庭、職場、社会等のあらゆる場で特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

		もともと必要である	必要である	必要ではない	わからない
学校教育	(ア) 男女平等についての授業を行う	1	2	3	4
	(イ) 性別にかかわらず、児童・生徒の個性や能力に応じた生活指導、進路指導を行う	1	2	3	4
	(ウ) 教員など指導的立場にあるものに研修を行う	1	2	3	4
家庭	(エ) 男女平等についての子ども向け、家庭向けパンフレットを作成する	1	2	3	4
	(オ) 互いの性を尊重しあうことの大切さを教える	1	2	3	4
	(カ) 子どもを産み育てることの大切さを教える	1	2	3	4
職場	(キ) 職場内で男女平等についての研修を行う	1	2	3	4
	(ク) 会社役員や人事担当などに男女平等についての研修を行う	1	2	3	4
社会	(ケ) 市民意識啓発のために講演会やセミナーを開催する	1	2	3	4
(コ) その他（具体的に： _____）					

3 家庭生活について

問5 あなたは、家事、育児、介護、町会・自治会活動、PTA活動の役割について、どのようにお考えですか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

	主に女性がする	男女が協力してする	主に男性がする	時間があるほうがある	わからない
(ア) 家事	1	2	3	4	5
(イ) 育児	1	2	3	4	5
(ウ) 介護	1	2	3	4	5
(エ) 町会・自治会活動	1	2	3	4	5
(オ) PTA活動	1	2	3	4	5

問6 あなたは、家事、育児、介護、町会・自治会活動、PTA活動について、現在、平日で平均どのくらい関わっていますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

	ほとんど関わっていない	30分程度	1時間程度	2～3時間程度	4～5時間程度	6～7時間程度	8時間以上	わからない	該当する家族はいない
(ア) 家事	1	2	3	4	5	6	7	8	
(イ) 育児	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(ウ) 介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(エ) 町会・自治会活動	1	2	3	4	5	6	7	8	9
(オ) PTA活動	1	2	3	4	5	6	7	8	9

4 ワーク・ライフ・バランスについて

問7 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | |
|--------------------|---------|
| 1. 内容をよく知っている | 3. 知らない |
| 2. 見たり、聞いたりしたことはある | |

問8 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの希望（理想）に最も近いものを1つお選びください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 「仕事」を優先 |
| 2. 「家庭生活」を優先 |
| 3. 「地域・個人の生活」を優先 |
| 4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先 |
| 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先 |
| 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 |
| 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 |
| 8. わからない |

問9 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの現実（現状）に最も近いものを1つお選びください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 「仕事」を優先 |
| 2. 「家庭生活」を優先 |
| 3. 「地域・個人の生活」を優先 |
| 4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先 |
| 5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先 |
| 6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 |
| 7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 |
| 8. わからない |

問10 あなたは、男性の育児休業、介護休業取得についてどのようにお考えですか。それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つずつお選びください。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
(ア) 育児休業	1	2	3	4	5
(イ) 介護休業	1	2	3	4	5

問11 男女が共に仕事と家庭の両立をしていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

1. 給与などの男女間格差をなくすこと
2. 年間労働時間を短縮すること
3. 育児・介護休業、育児短時間勤務などの制度を企業が整えること
4. 代替要員の確保など、育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境をつくること
5. 育児や介護のために退職した職員をもとの会社で再雇用する制度を導入すること
6. 育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的給与を充実すること
7. 地域の保育施設や保育時間の延長など保育内容を充実すること
8. 在宅勤務や時差勤務など、柔軟な勤務制度を導入すること
9. 職業上、必要な知識・技術などの職業訓練を充実すること
10. 男性が家事や育児を行う能力を高めること
11. 男性が家事や育児を行うことに対し、職場や周囲の理解と協力があること
12. その他（具体的に： _____)
13. わからない

5 就労について

問12 女性の働き方は、どのようなかたちが望ましいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

1. ずっと仕事を続ける
2. 結婚したら仕事をやめ、家事や育児に専念する
3. 子育て時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける
4. 子育て時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける
5. 子どもができるまでは仕事を持ち、子どもができたなら家事や育児に専念する
6. 仕事は持たない
7. その他（具体的に： _____)
8. わからない

問13 一般的に働く場において、女性の管理職への登用について、どのように感じますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

- | | | |
|------------------|--------------|----------|
| 1. 進んでいる | 3. あまり進んでいない | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば進んでいる | 4. 進んでいない | |

問14 一般的に働く場において、女性の管理職への登用に関して、どのような課題があると思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 女性を登用するためのキャリア形成支援が不十分であること | |
| 2. 昇進を望まない女性が多い（管理職への意識が低い）こと | |
| 3. 女性管理職のロールモデルがないこと | |
| 4. 男性に比べ、女性は正当な評価がされないこと | |
| 5. 女性管理職登用に関して、経営層の意識が低いこと | |
| 6. その他（具体的に： _____） | |
| 7. 課題はない | |

6 社会活動への参加について

問15 あなたは、地方自治体（県や市町村）などの施策について、女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | | |
|----------------|-----------------|----------|
| 1. 十分反映されている | 3. あまり反映されていない | 5. わからない |
| 2. ある程度反映されている | 4. ほとんど反映されていない | |

↓
(問15で「3. あまり反映されていない」「4. ほとんど反映されていない」と答えた方に)

問15-1 その理由は何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 女性の議員が少ない | |
| 2. 行政機関の管理職に女性が少ない | |
| 3. 審議会や委員会に女性委員が少ない | |
| 4. 町会や自治会のリーダーに女性が少ない | |
| 5. 女性自身の意欲や責任感が乏しい | |
| 6. 男性の意識・理解が足りない | |
| 7. 社会のしくみが女性に不利 | |
| 8. その他（具体的に： _____） | |

問16 あなたは、以下に挙げる活動の中で、過去2年の間に行ったことがある活動はありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 町会や自治会などの活動
2. 公共施設での活動
3. 青少年育成に関する活動（ボーイスカウト・ガールスカウト、子ども会など）
4. 交通安全に関する活動（子どもの登下校時の安全監視など）
5. 保健・医療・衛生に関する活動（病院ボランティアなど）
6. 募金活動、チャリティーバザーの活動
7. 防犯・防災活動や災害援助活動
8. 体育・スポーツ・文化に関する活動（スポーツ・レクリエーション指導、祭り、学校でのクラブ活動における指導など）
9. 自然環境保護に関する活動（環境美化・清掃活動、リサイクル活動、牛乳パックの回収など）
10. お年寄りや障がいのある人のための福祉活動
11. 保育園・幼稚園・学校などのPTA活動
12. 家事や子どもの養育を通じての活動
13. 国際交流・協力に関する活動
14. その他（具体的に： _____ ）
15. 特にない

（問16で「15. 特にない」と答えた方に）

問16-1 あなたが活動しなかったのはなぜですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 仕事が忙しいから | 7. 近くに活動の場がないから |
| 2. 家事や育児・介護などが忙しいから | 8. 参加したいと思う活動がないから |
| 3. 経済的余裕がないから | 9. 参加方法がわからない、きっかけがないから |
| 4. どのような活動があるかわからないから | 10. その他 |
| 5. 一緒に活動する仲間がないから | （具体的に： _____ ） |
| 6. 家族の理解や協力ががないから | 11. 特にない |

7 男女間の暴力について

問17 あなたは、次のようなことが配偶者（事実婚や別居、離別を含む）やパートナー、恋人間で行われた場合、暴力にあたると思いますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

	どんな場合も暴力にあたる	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたると思わない
(ア) 平手で打つ・こぶしで殴る	1	2	3
(イ) 足で蹴る	1	2	3
(ウ) 物を投げつける	1	2	3
(エ) 身体を傷つける可能性のある物などで殴る	1	2	3
(オ) 殴るふりをして脅かす	1	2	3
(カ) 刃物などを突きつけて脅かす	1	2	3
(キ) 突き飛ばしたり、壁に叩きつけたりする	1	2	3
(ク) ドアや机を蹴るなど、大きな音を立てて脅かす	1	2	3
(ケ) 相手が嫌がっているのに性的な行為を強制する	1	2	3
(コ) 見たくないのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
(サ) 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
(シ) 交友関係や電話・郵便物などを細かく監視する	1	2	3
(ス) 「誰のおかげで生活できるのだ」「役立たず」などと言う	1	2	3
(セ) 大声でどなる	1	2	3
(ソ) 生活費を渡さない	1	2	3

問18 あなたは、次のような行為を受けたことがありますか。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。配偶者（事実婚や別居、離別を含む）と恋人両方から受けたことがある場合は、両方について頻度をお答えください。

	配偶者から (事実婚等を含む)		恋人から		全くない
	あ 何 度 も あ っ た	あ 1 〜 2 度 あ っ た	あ 何 度 も あ っ た	あ 1 〜 2 度 あ っ た	
(ア) 平手で打つ・こぶしで殴る	1	2	3	4	5
(イ) 足で蹴る	1	2	3	4	5
(ウ) 物を投げつける	1	2	3	4	5
(エ) 身体を傷つける可能性のある物などで殴る	1	2	3	4	5
(オ) 殴るふりをして脅かす	1	2	3	4	5
(カ) 刃物などを突きつけて脅かす	1	2	3	4	5
(キ) 突き飛ばしたり、壁に叩きつけたりする	1	2	3	4	5
(ク) ドアや机を蹴るなど、大きな音を立てて脅かす	1	2	3	4	5
(ケ) 相手が嫌がっているのに性的な行為を強制する	1	2	3	4	5
(コ) 見たくないのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3	4	5
(サ) 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3	4	5
(シ) 交友関係や電話・郵便物などを細かく監視する	1	2	3	4	5
(ス) 「誰のおかげで生活できるのだ」「役立たず」などと言う	1	2	3	4	5
(セ) 大声でどなる	1	2	3	4	5
(ソ) 生活費を渡さない	1	2	3	4	5

(問18で1つでも「1. 何度もあった」から「4. 1〜2度あった」と答えた方に)

問18-1 誰かに相談しましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 家族・親戚	7. 民間の相談機関
2. 友人・知人	8. 弁護士
3. 同じ経験をした人	9. 警察
4. 医師・カウンセラー	10. その他
5. 公的機関（市や県の相談窓口や電話相談）	（具体的に：）
6. 人権擁護委員	11. 誰にも相談しなかった

次ページの間18-1-1へ

(問18-1で「11. 誰にも相談しなかった」と答えた方に)

問18-1-1 相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものをすべてお選びください。

1. 相談するほどのことではないと思ったから
2. 相談しても無駄だと思ったから
3. どこに相談したらいいかわからなかったから
4. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
5. そのことについて思い出したくなかったから
6. 相談員の言動により不快な思いをすと思ったから
7. 自分さえ我慢すればすむと思ったから
8. 相談したことがわかると仕返しを受けると思ったから
9. 世間体が悪いから
10. 他人を巻き込みたくなかったから
11. 自分にも悪いところがあると思ったから
12. その他 (具体的に: _____)
13. わからない

8 困難な問題を抱える女性への支援について

問19 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(女性支援新法)を知っていますか。

- | | | |
|---------------|--------------------------|---------|
| 1. 内容をよく知っている | 2. 聞いたことはあるが、
内容は知らない | 3. 知らない |
|---------------|--------------------------|---------|

問20 身近に困難な問題を抱えている女性はいますか。

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問21 女性が抱える困難とはどのようなものだと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

- | |
|--------------------------|
| 1 配偶者等からの暴力・虐待 |
| 2 配偶者以外からの暴力・虐待 |
| 3 暴力以外の家族・親族の問題(離婚問題を含む) |
| 4 ストーカー被害・性被害・性的搾取 |
| 5 こころの病気・精神的不調 |
| 6 体の病気・けが |
| 7 経済問題(生活困窮・失業・求職など) |
| 8 地域の間人間関係 |
| 9 その他(_____) |

(女性のみ回答をお願いします)

問22 あなたはご自身を困難を抱えている女性だと思いますか。

1. はい

2. いいえ

3. わからない

(問22で、「はい」と答えた方に)

問22-1

どのような困難を抱えていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

- 1 配偶者等からの暴力・虐待
- 2 配偶者以外からの暴力・虐待
- 3 暴力以外の家族・親族の問題（離婚問題を含む）
- 4 ストーカー被害・性被害・性的搾取
- 5 こころの病気・精神的不調
- 6 体の病気・けが
- 7 経済問題（生活困窮・失業・求職など）
- 8 地域の間人間関係
- 9 その他（)

問23 女性の相談窓口を知っていますか。知っているものをすべてお選びください。

- 1 川口市女性総合相談・川口市配偶者暴力相談支援センター（DV、家族・夫婦間における問題などに関する相談）
- 2 川口市市民相談室（法律相談・ファミリー相談等）
- 3 川口市地域保健センター（妊娠・出産・子育てに関する相談）
- 4 埼玉県男女共同参画推進センター・With Youさいたま（DV・人間関係等、様々な相談）
- 5 内閣府 DV相談+（プラス）
- 6 内閣府 Curetime（キュアタイム）（性暴力に関するSNS相談）
- 7 埼玉県女性・DVチャット相談「たまチャ」（DV・人間関係等に関する相談）
- 8 その他（民間の相談機関等）
- 9 相談できる窓口は知らない

9 防災について

問24 防災・災害復興対策に、男女の性別に配慮した対応がとられる必要があると思いますか。あてはまるものを1つお選びください。

- | | | |
|------------------|-----------------|----------|
| 1. 必要がある | 3. 必要ない | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば必要がある | 4. どちらかといえば必要ない | |

→ (問24で「1. 必要がある」「2. どちらかといえば必要がある」と答えた方に)

問24-1 防災・災害復興対策で男女の性別に配慮して取り組む必要があると思うものは何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

- | |
|-----------------------|
| 1. 避難所の設置・運営体制 |
| 2. 被災者に対する相談受付体制 |
| 3. 食料、飲料水、医薬品の備えや供給体制 |
| 4. 救援医療体制 |
| 5. 災害時の正確・迅速な情報連絡体制 |
| 6. その他（具体的に： _____） |
| 7. わからない |

10 人権について

問25 あなたは次のようなハラスメントを受けた経験がありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. パワー・ハラスメント |
| 2. セクシュアル・ハラスメント |
| 3. マタニティ・ハラスメント |
| 4. モラル・ハラスメント※1 |
| 5. ケア・ハラスメント※2 |
| 6. 性的指向・性自認に関するハラスメント |
| 7. 自分は受けたことはないが、周囲に被害者がいる |
| 8. 自分も受けたことがないし、周囲にも被害者はいない |

※1 モラル・ハラスメントとは、言葉や態度などによる精神的な暴力、嫌がらせです。

※2 ケア・ハラスメントとは、働きながら育児や介護を行う労働者に対し、嫌がらせや制度を利用させない行為です。

→ (問25で1つでも「1. パワー・ハラスメント」から「6. 性的指向・性自認に関するハラスメント」と答えた方に)

問25-1 ハラスメント被害を誰かに相談しましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 家族・親戚 | 7. 民間の相談機関 |
| 2. 友人・知人 | 8. 弁護士 |
| 3. 同じ経験をした人 | 9. その他 |
| 4. 医師・カウンセラー | (具体的に: _____) |
| 5. 公的機関 (市や県の相談窓口や電話相談) | 10. 誰にも相談しなかった |
| 6. 人権擁護委員 | |

問26 あなたは、性的マイノリティ（LGBTQ+※等）の当事者が困っていることはどのようなことだと思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 職場、学校において、嫌がらせを受けること |
| 2. 差別的な言動をされること |
| 3. じろじろ見られたり、避けられたりすること |
| 4. 性的マイノリティに対する理解が足りないこと |
| 5. 更衣室、トイレなど男女区別のある施設が利用しづらいこと |
| 6. 本人の許可なく、性的指向や性自認を他人に暴露されること |
| 7. 就職・職場で不利な扱いを受けること |
| 8. アパート等への入居を拒否されること |
| 9. 店舗等への入店や施設利用を拒否されること |
| 10. その他 (具体的に: _____) |
| 11. 特になし |

※ LGBTQ+とは、レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル (両性愛者)、トランスジェンダー (生まれた時の性別と自認する性別が一致しない人)、クエスチョニング (性の在り方を決められない・分からない人など)、プラス (LGBTQ以外にもさまざまな在り方があることを踏まえ、より包括的な意味合いを持たせるために+ (プラス) がつけられる) など、性的マイノリティの方を表す総称のひとつです。その他にも、多様なセクシュアリティがあります。

問27 性的マイノリティの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

- | |
|--------------------------------------------------|
| 1. 性的マイノリティの人権を守るための啓発活動を推進する |
| 2. 性的マイノリティのための人権相談、電話相談を充実する |
| 3. 学校において、性的マイノリティについて理解を深める教育を充実する |
| 4. パートナーシップ宣誓制度※など、同性カップルを公認する制度をつくる |
| 5. 性的マイノリティが働きやすい職場環境を整備する |
| 6. 公共施設や店舗等のトイレや更衣室などを、性的マイノリティへの配慮の視点を取り入れて整備する |
| 7. 役所への申請書やアンケートの性別欄を性的マイノリティに配慮したものにする |
| 8. その他 (具体的に: _____) |
| 9. 特になし |

※ パートナーシップ宣誓制度とは、市町村が、同性のカップルを「婚姻に相当する関係」と認め、市町村独自の証明書を発行する制度です。

11 男女共同参画の推進について

問28 次に挙げる男女共同参画に関する社会の動きや言葉についてうかがいます。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

	内容をよく 知っている	見たり、聞いた りしたことはある	知らない
(ア) 男女共同参画社会	1	2	3
(イ) ジェンダー（社会的性別）	1	2	3
(ウ) エンパワーメント	1	2	3
(エ) ポジティブ・アクション	1	2	3
(オ) ユニバーサルデザイン	1	2	3
(カ) 性的マイノリティ、LGBTQ+	1	2	3
(キ) デートDV	1	2	3
(ク) 女子差別撤廃条約	1	2	3
(ケ) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）	1	2	3
(コ) 育児・介護休業法	1	2	3
(サ) 男女雇用機会均等法	1	2	3
(シ) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	1	2	3

問29 川口市が取り組んでいる次の施策・事業についてうかがいます。それぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

	内容をよく知っている	見たり、聞いたりしたことはある	知らない
(ア) 男女共同参画情報紙「Co-Labo (コ・ラボ)」	1	2	3
(イ) 川口市男女共同参画推進条例	1	2	3
(ウ) 第3次川口市男女共同参画計画	1	2	3
(エ) 第2次川口市DV対策基本計画及び困難な問題を抱える女性への支援計画	1	2	3
(オ) 男女共同参画セミナー	1	2	3
(カ) 川口市男女共同参画のつどい(講演会)	1	2	3
(キ) 川口市男女共同参画イベント「カラフルふえすた」	1	2	3
(ク) キュポ・ラ本館棟M4階「男女共同参画コーナー」	1	2	3
(ケ) 女性のための相談窓口や電話相談	1	2	3

問30 男女共同参画社会の実現に向けて、今後川口市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。3つまでお選びください。

1. 広報紙やパンフレットなどで、男女共同参画について意識啓発を積極的に行う
2. 学校教育の場で、男女共同参画についての学習を充実する
3. 生涯学習の場や地域で、男女共同参画についての学習を充実する
4. セクシュアル・ハラスメントやDV等、人権に関する相談窓口や支援体制を充実する
5. 性的マイノリティ、LGBTQ+など性の多様性に関する意識啓発を行う
6. 政策方針決定の場へ女性を積極的に登用する
7. 女性自身の職業能力の向上を図るための学習の場を充実する
8. 男性に対して男女共同参画についての意識啓発や家事講座等の学習を充実する
9. 保育施設や学童保育などのサービスを充実する
10. 介護や福祉関係の施設やサービスを充実する
11. 企業などが男女共同参画の推進に取り組めるよう、情報提供や働きかけを行う
12. 外国人市民が住みやすい環境づくりを進める
13. 男女共同参画を推進するための活動拠点を充実させる
14. その他(具体的に: _____)
15. 特になし

問31 市の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についてご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

あなたご自身のことについて

F 1 あなたの性別は次のうちどれですか。あてはまるものを1つお選びください。(戸籍上の性別に関係なくお答えください。)

1. 男性	2. 女性	3. 1、2以外
-------	-------	----------

F 2 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 18～19歳	4. 30～34歳	7. 45～49歳	10. 60～64歳
2. 20～24歳	5. 35～39歳	8. 50～54歳	11. 65～69歳
3. 25～29歳	6. 40～44歳	9. 55～59歳	12. 70歳以上

F 3 あなたの職業(2つ以上の職業に就いている方は、主なもの)は次のうちどれですか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 事業主	5. 派遣・契約・嘱託	9. 無職
2. 自営業・家業	6. パート・アルバイト	10. その他 (具体的に：)
3. 自由業	7. 専業主婦・専業主夫	
4. 会社員・団体職員	8. 学生	

F 4 あなたは結婚していますか。あてはまるものを1つお選びください。

<table border="1"><tr><td>1. 結婚している(事実婚を含む)</td></tr><tr><td>2. 結婚していたが、離別・死別した</td></tr><tr><td>3. 結婚していない(未婚)</td></tr></table>	1. 結婚している(事実婚を含む)	2. 結婚していたが、離別・死別した	3. 結婚していない(未婚)	<table border="1"><tr><td>F 4-1 夫婦の働き方</td></tr><tr><td>1. 共働き</td></tr><tr><td>2. 夫だけ働いている</td></tr><tr><td>3. 妻だけ働いている</td></tr><tr><td>4. 夫婦とも無職</td></tr></table>	F 4-1 夫婦の働き方	1. 共働き	2. 夫だけ働いている	3. 妻だけ働いている	4. 夫婦とも無職
1. 結婚している(事実婚を含む)									
2. 結婚していたが、離別・死別した									
3. 結婚していない(未婚)									
F 4-1 夫婦の働き方									
1. 共働き									
2. 夫だけ働いている									
3. 妻だけ働いている									
4. 夫婦とも無職									

F 5 お子さんはいらっしゃいますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. いない	2. 1人	5. 4人
	3. 2人	6. 5人以上
	4. 3人	

F 5-1 一番下のお子さんはおいくつですか。_____に年齢をご記入ください。

_____ 歳

F 6 あなたが同居している家族構成は次のどれにあてはまりますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 一人世帯	2. 一世代世帯（夫婦のみ）	4. 三世代世帯（親と子と孫）
	3. 二世帯世帯（親と子）	5. その他 (具体的に： _____)

F 6-1 回答者ご本人様以外で、65歳以上のご家族と同居されていますか。あてはまるものを1つお選びください。

1. 同居している	2. 同居はしていない
-----------	-------------

調査は以上です。

ご協力、ありがとうございました。

